

2014 年度事業報告

選ばれるエネルギー事業者へ飛躍の年として取り組んだ一年でありました。エネルギー基本計画のほか、国土強靱化基本計画や、「災害に強い学校施設の在り方について」（文科省報告書）等の記載を見ても L P ガスが有効なエネルギーであることを国が高く評価していることが窺えます。こうした期待に応えるべく、需要喚起策や食育・火育の社会貢献活動、また災害時の協力体制整備として各市町との災害時協定の締結促進等を進めてきましたが、エネルギーの大競争時代への突入を控え更に顧客との接点強化に戻った事業展開が求められています。L P ガスが信頼され選ばれることを目指し、新たな取り組みにも挑戦して活動しました。

2014 年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

《需要開発委員会》

需要開発委員会の主幹事業は、L P ガスの更なる需要拡大、需要創造を図り、L P ガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしを提案することです。業界一丸となり推進している「需要開発推進運動」を積極展開し、夢のある産業を目指し三重県独自の取り組みも展開しました。

1、需要開発推進運動の推進

(1) 災害時における L P ガス等の調達に関する協定締結

各市町と地域協議会が災害時の協定を締結し、災害に強い L P ガスの活用を浸透させる活動を実施しました。

締結率は、27/29 市町 90%です。

(2) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」開催

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のことばの意味やお箸の正しい使いかたの出前授業を社会貢献活動として、昨年度に引き続き地域協議会と共催で実施しました。

- ・ 6 月 12 日 桑名協議会 マリアモンテッソーリ幼稚園 園児 65 人
- ・ 10 月 30 日 松阪協議会 乳幼稚園 園児 60 人
- ・ 2 月 4 日 伊勢協議会 中須保育園 園児 57 人

(3) 需要開発セミナー

7 月 23 日 エネファーム「国の情勢と販売の意義」とエコジョーズ「販売戦略」についての需要開発セミナーを全 L 協の推奨を受けて実施し、30 名の参加をいただきました。

第 1 号議案

(4) Gライン活動

ガス体エネルギー、ウィズガスとしてガスの良さを訴えることを主目的に活動を展開してきました。

① 機器販売キャンペーン

Si センサーコンロ（ガラストップ）、エコジョーズ、レンジフードを対象に機器販売目標達成にご協力いただきました。

機 種	実 績 (台)	目 標 (台)	達成率 (%)	前年比 (%)
Si センサーコンロ	3213	3610	89	106
エコジョーズ	3185	3220	99	102
レンジフード	317	300	106	112

② Gラインセミナー

9月11日 三重県開催として四日市都ホテルに於いて講演会を開催し多くの方にご出席いただきました。(参加者 256 名)

③ ノウハウ支援 (講習会)

ガスコンロ拡販営業スキル研修会、電話マナー講習会を開催し、知識向上に活用いただきました。

《流通委員会》

流通委員会の主幹事業は、小売に起因する諸問題であります。将来の需要拡大のための社会貢献や消費者からの相談事業など幅広く、能動的に活動しました。

1、業界の発展基盤の強化

(1) 全国親子クッキングコンテスト三重実技大会

食育活動の一環として、三重実技大会を県立相可高校食物調理科のみなさまの協力を得て実施し、参加いただいた親子さんからも温かい感謝のことばをいただきました。

この事業の拡大に更なるご協力をお願いいたします。

(2) 法務研修会

特定商取引法や設備貸与契約等の諸問題について法律の専門家から具体的なポイント解説の研修会を昨年度に引き続き開催しました。

・伊賀会場 8月6日(水曜日) 34名

(3) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

第 1 号議案

- 相談件数 79 件 （前年度比 13 件 ）
（主な増減は、LP ガスの価格 △6 件、販売店移動 9 件、保安関係 7 件）

（4） 広報活動

3 県共同広報活動（三重県、愛知県、岐阜県）でテレビCM、新聞掲載を継続実施しました。テレビCMを刷新して、温かいイメージを打ち出し好評をいただいております。

実施期間 ⇒ 2014 年 10 月 ～ 2015 年 1 月

《保安委員会》

保安委員会の主幹事業は、保安なくして事業なしという言葉通り、自主保安をさらに高度化し、信頼され、愛され、選ばれる業界を目指すことをテーマに以下の事業を推進しました。

1、保安の確保の充実

（1） 保安啓蒙展示会及び補助金事業

①保安啓蒙展示会は、8月24日伊賀協議会が上野地区を中心にLPガスの保安啓蒙、最新保安機器等の紹介を兼ねた展示会を実施しました。

②保安啓蒙事業補助金

各地域での保安啓蒙活動への支援事業を計画し、今年度は9地域、9事業に取り組んでいただき、新たな事業も始まりました。

（2） LPガス安全安心向上運動の推進

三か年計画で供給設備総点検事業を実施しており今年度が最終年度です。この事業の目的「安全安心なLPガスライフ」の提供ができる業界を目指すことにご理解、協力いただきありがとうございました。

お客様の安全安心のためにも、更に内容を充実させ運動を継続させますのでご協力をお願いいたします。

（3） LPガス事故防止

昨年暮にいなべ市で発生したLPガス事故でも法令を遵守しておれば防げた事故でありました。県防災対策部の発令文書に基づき周知し、事故防止運動を推進しました。

（4） 高圧ガス実験・訓練

11月26日 三重県消防学校において、LPガスの燃焼実験、容器バルブからのガス漏洩閉止訓練を実施しました。

《災害対策等委員会》

災害対策等委員会は、喫緊と想定される「南海トラフ巨大地震」などの対策整備が急務であり、災害対策要綱、マニュアル等を見直し、県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に能動的に活動しました。

1、災害時における対応強化

(1) 災害時対応機器備蓄

この事業は、3年目に入り、伊勢市（伊勢光の街）、紀北町（紀北町役場）に災害時対応機器を備蓄し、地域社会貢献活動として実施しました。

(2) 災害対策要綱、マニュアル等の見直策定

苛烈化する災害に対して、現状で考えられる対策を盛り込んだ災害対策要綱、災害対策マニュアル等を見直し、また新たに応援ルール等を策定し、2015年4月1日より施行しております。

(3) 県及び関係機関との連携

①県総合防災訓練に志摩協議会が参加し、はじめて日赤、自衛隊久居駐屯地と連携して避難所運営訓練に支援しました。

②県総合図上訓練に昨年に引き続き参加し、県及び市町、関係機関との連携について検証・訓練しました。

(4) 石油備蓄法に基づく対応・協力（中核充填所の活動と整備状況）

①石油ガス流通合理化対策事業補助金（中核充填所体制整備事業補助金）を活用し、災害時の機材及び体制整備を行いました。（補助金交付額 1,887,000円）

整備機材等

・衛星電話 1台 ・発電機（低圧LPガス発電機） 1台 ・投光機 1台

・中核充填所指定看板など

中核充填所稼働訓練

・11月20日 第4地域（東海3県、北陸2県）での連携情報伝達訓練を実施し、国及び県の関係機関とで衛星電話を活用した情報伝達訓練を実施しました。

・11月26日 県内中核充填所（11事業者）が（株）マルエイ四日市支店を訓練会場に、整備機器稼働、共同充填等の訓練を実施しました。

②中核充填所整備状況

11事業所の機器整備は完了し、有効活用のための諸問題について中核充填所委員会にて、地域の事業者との連携等を検討しております。

《総務委員会》

総務委員会では、団体として重要な「コーポレートガバナンス（企業統治）」を重視し、健全な運営を目指してまいりました。

(1) 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

- ①認可時公益目的財産額 112,800,235 円 （2013 年 6 月確定）
公益目的支出計画の実施期間 16 年間
- ②期首公益目的財産額 99,639,811 円
当期公益目的支出額 12,100,122 円
- ③期末公益目的財産額 87,539,689 円

(2) 各委員会活動の拡充

各委員会において、目的を明確にして積極的に活動いただき、少しではあるが前進し、業界の地位向上と発展につながる活動ができました。

(3) その他事業の促進

その他事業 1（斡旋物販売事業）

その他事業 2（教材販売事業）

その他事業 3（教育事業）

その他事業 4～5（全 L 協 LP ガスライフ事業）を積極的に取り組みました。

全 L 協支援事業

- ・避難所・病院・福祉施設等における LP ガスの常設利用のお願い文書と導入事例集を知事及び各市町首長宛に送付しました。

《青年委員会》

青年委員会では、次世代を担う後継者を中心に若者らしく闊達自在な活動を期待しておりますが、各地域で会員不足で活動ができない事態が起きております。そんな中、青年委員会では現実的な問題に対しての研修活動等に一歩が踏み出せたと感じております。

(1) 県防災拠点支援事業

県防災拠点支援事業として LP ガス発電機 3 台を寄贈しました。この事業は 2007 年度からの継続事業で 8 年目になり、8 ヲ所の県防災拠点に 24 台の LP ガス発電機が整備されております。

(2) 「同業に学ぼう！」研修会

- ・6 月 19 日 県内事業者の事業の取組成功事例等について研修会を開催しました。

第 1 号議案

- ・3月12日 不適正勧誘をテーマに（公社）神奈川県LPガス協会坂本業務課長さまによる研修会を開催しました。

(3) 地域活動への協力と支援

- ・10月18日 親子クッキングコンテスト三重実技大会においては、大会運営に進行役として協力しました。
- ・11月2日 県総合防災訓練会場にて災害に強いLPガスのPR活動を志摩協議会と共に実施しました。

《公益目的支出計画に定めた主な実施事業》

(1) 継続事業 1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びLPガスライフラインの復旧支援事業等)

①災害時対応機器備蓄事業

- ・7月30日 伊勢市/光の街コミュニティセンター 避難所
- ・2月25日 紀北町/紀北町役場 避難所

②県防災拠点支援事業

- ・1月16日 伊勢志摩広域防災拠点

(2) 継続事業 2 広報事業

(機器管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用の紹介)

①3県広報事業（愛知県、岐阜県、三重県共同事業）

- ・10月～1月 在名4局テレビCM放送、新聞掲載など

②食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」

- ・6月12日 桑名協議会 桑名市/マリアモンテッソーリ幼稚園
- ・10月30日 松阪協議会 松阪市/乳幼稚園
- ・2月4日 伊勢協議会 伊勢市/中須保育園

(3) 継続事業 3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、実機を見て、触って、確かめる展示会と講演などによる保安啓蒙活動)

①保安啓蒙展示会及び地域保安啓蒙活動補助金事業

- ・8月24日 伊賀協議会 伊賀市「市民夏のにぎわいフェスタ」
- ・地域保安啓蒙活動補助金事業 9地域協議会 9事業活動に補助金として支援

②親子クッキングコンテスト

- ・10月18日 三重実技大会選考会、三重実技大会 県立相可高校食物調理科
- ・12月6日 東海大会 東邦ガス栄ガスビル